

栃木県眼科医会理事会だより(平成21年度第6回)

日時：平成22年3月17日(水) 午後7時より

場所：宇都宮市医師会館

出席：宮下会長、原(裕)、旭副会長、木村、大久保(彰)、大野、吉沢(徹)、苗加、福島、落合(憲)、上田、小幡、松島(博)、井岡、高橋、斉藤(哲)、堤理事、松島(雄)監事、稲葉(光)、柏瀬、茨木顧問 計21名

欠席：城山、牧野、斉藤(春)、大沼理事、鈴木監事、早津、田口、佐藤、斉藤(武)、妹尾顧問 計10名

[会長挨拶]

皆さんお忙しいところありがとうございます。今日は21年度最後の理事会になります。今年度の事業報告や決算報告、来年度の事業計画案など、多くの議題がありますので、よろしくお願ひします。

[総務]

報告：1. 平成21年度第2回関プロ支部長会議、関プロ連絡協議会の出席報告(3月7日(日)横浜市ホテルキャメロットジャパン)

関プロ支部長会議には宮下会長が出席。

* 協議事項

- 1) 日眼医会役員選挙に係る関プロとしての対応(新潟県)、会長に高野繁先生(神奈川)と欠員を埋める理事として野中隆久先生(長野)が推薦され、承認された。
- 2) 日眼医会新公益法人に対する関プロの対応(千葉県) 一般社団法人に比べ税制上も有利であり、メーカーからの寄付も受けられる。また、社会的な発言力も違って来るものと思われ、今後公益法人化を推進していく方針。

* 報告事項

- 1) 第45回関東甲信越眼科学会(新潟県) 勤務医部会に日眼医から出ている補助金について、厚労省からの要請に応じ、今後は詳細な使途明細報告を出す予定となった。
- 2) 平成22年度関プロ(新潟支部担当)目の健康講座 平成22年10月10日新潟市民プラザで開催予定。

* 第46回関東甲信越眼科学会開催について

平成22年5月29日(土)・30日(日)高崎市ホテルメトロポリタン高崎で開催予定。

* その他

- 1) 学校健診における色覚検査については、教育委員会と協議しながら今後出来るだけ施行するようにしたい。

2) 第47回関東甲信越眼科学会は7月17日(日)・18日(月)に軽井沢プリンスホテルで開催予定。

関プロ連絡協議会には宮下会長、原(裕)副会長、稲葉、柏瀬、早津顧問が出席。平成22年度事業計画、予算案等について討議が行われた。また、日眼医次期会長選挙に立候補した高野繁常任理事から、今までのいきさつ等について報告があった。

2. 平成22・23年度日本眼科医会代議員及び予備代議員について
従来通り代議員に原(裕)副会長、予備代議員に旭副会長を申請した。

3. 会員の異動

自宅住所変更 B 高 望美 (獨協医大) B 山下由佳子(獨協医大)

協議：1 平成21年度栃眼医会務報告案作成の件

原案を承認し、4月11日の総会に提案する事とした。

2. 平成22年度栃眼医事業計画案作成の件

昨年とほぼ同様だが、22年度は栃眼医ホームページ立ち上げに伴い、IT化を更に進めていく予定。

3. 平成22年度栃眼医総会式次第について(4月11日(日)自治医大11:30~12:30)

21年度の会務、会計、22年度第1回日眼医定例代議員会、眼科一次救急の経過、栃眼医ホームページについての報告を行う。また22年度の事業計画、予算、眼科一次救急当番医選出について協議する(乱数表を用いた公平な選出法を予定している)。その後健保研究会を予定。

4. 平成22年度第1回日眼医定例代議員会、定例総会出席の件(4月3日(土)、4日(日))東京プリンスホテル)

原(裕)副会長が出席予定。

5. 平成22年度第1回関プロ支部長会議、連絡協議会の出席者と提出議題

支部長会議に宮下会長、連絡協議会に稲葉、柏瀬、早津顧問、及び原(裕)副会長が出席予定。提出議題は未定。

6. 早津宏夫先生(早津眼科)がB A会員に、早津尚夫先生(同)がA B会員に、変更となる件

協議の結果、全員の承認を得た。

[経理]

協議：1. 平成21年度栃眼医決算報告案作成の件

原案を承認し、4月11日の総会に提案することとした。

2. 平成22年度栃眼医予算案作成の件

同じく原案を承認。

3. 平成21年度栃眼医会報会計報告案作成の件

同じく原案を承認。

[学術]

- 報告：1. 第42回栃眼医研究会の開催報告(1月15日(金))
55名が参加し、盛会のうち終了。
2. 第20回下野栃木談話会の開催の件(獨協医大、万有製薬共催、当会後援、3月19日(金)小山グランドホテル)
一般講演4題
特別講演：「眼内レンズの最新情報～トーリックIOLと多焦点IOLを中心に～」 根岸一乃先生(慶応大学医学部眼科准教授)
3. 第59回栃木県眼科集談会開催の件(4月11日(日)自治医大研修センター)
一般講演：AM 9:00～
特別講演：「眼瞼と結膜に見られる腫瘍の診方と治療」 後籐浩先生(東京医大眼科教授) AM12:30～
4. 第50回栃木県総合医学会プログラム(案)について(6月20日(日)とちぎ健康の森)
当会からの提出演題は未定。
- 協議：1. 第43回栃眼医研究会の開催の件(日本アルコンと共催 6月11日(金) 宇都宮グランドホテル)
特別講演予定
1)「医療裁判について」 峰村健司先生(久我山病院眼科)
2)「術後眼内炎について」 薄井紀夫先生(総合新川橋病院眼科部長)を予定。
2. 第33回獨協医大栃眼医合同講演会の件(7月23日(金)獨協医大)
特別講演予定
1)「前眼部の免疫」 福島敦樹先生(高知大学医学部眼科教授)
2)「後眼部の免疫」 園田康平先生(九州大学医学部眼科講師)
3. 第18回栃木眼科セミナーの件(自治医大、興和創薬共催、当会後援 10月1日(金)ホテル東日本宇都宮)
特別講演に眼科三宅病院の太田一郎先生を予定。テーマは白内障。
4. 平成21年度栃木県医学会々誌投稿依頼について
現在投稿希望者募集中。

[医療安全対策及び福祉]

- 報告：1. 平成22年度眼科コメディカル講習会開催の件
例年どおり帝京大医学部臨床大講堂で2回目1月24日、3回目2月28日に開催された。
2. 平成22年度眼科コメディカル試験の件
例年どおり帝京大医学部臨床大講堂で(5月15日(土))に開催予定。
3. 第72回栃眼医親睦ゴルフコンペについて
開催日：平成22年4月29日(みどりの日)

場 所：唐沢ゴルフ倶楽部唐沢コース（佐野市富士町1番地）

電話 0283-24-2525

スタート時間：9:03 INスタート。8:30集合

参加費：5,000円（病院勤務医は無料）

[保険]

報告：1. 「平成22年度診療報酬改定」の報告

井岡理事より今回の診療報酬改定の概要について報告があった。特に地域外来診療にあたる診療所の会員には大きな打撃となったが、日眼医本部からは包括点数の導入論などが出る逆境の中、説明に努め、当初の200億円の削減が60～65億円に留まるなど、最大限努力した結果がこれであった、との発表がされている。実際の運用面については不合理、かつ不透明な部分が多く、例えば明細書発行の義務化については、原則として従来の領収書と一緒に渡さなければならず、資源の無駄ばかりでなく、受け取る側も含め、現場で混乱が起る可能性がある。また、地域医療貢献加算については、24時間の対応を考えると、殆どの診療所で算定が難しいのではないかと、という意見がある。今後4月以降も行政との話し合いの中で解釈が変わっていく可能性もあり、状況に即応した会員への説明が肝要であろう。

協議：1. 日眼医全国審査委員連絡協議会出席者と提出議題（6月13日(日)東京グランドホテル）

城山社保審査委員が出席予定。提出議題は以下の2題を予定。

- 1) ブドウ膜炎と胸部レントゲン写真から結核感染を疑った場合、D017 喀痰検査等を行わずにD015 23結核菌特異蛋白刺激遊離インターフェロン 検査の算定可か。
- 2) G000涙嚢内薬液注入をG000皮内、皮下及び筋肉内注射の項で請求する場合、涙嚢内に注入した点眼液を薬剤料として請求できるか。

2. 関プロ健康保険委員会出席者と提出議題について（5月29日(土)高崎市ホテルメトロポリタン）

旭社保審査委員が出席予定。提出議題は未定だが地域医療貢献加算の地域における対応状況について、を予定している。

3. 健保研究会の件（4月11日(日)自治医大 12:30～13:00）

例年通り健保担当理事と県内審査委員が出席し、22年度診療報酬改定についての解説と会員からの質問に回答する。

4. 平成22年度第1回栃木県社保国保審査員連絡協議会の日程について

全国審査委員連絡協議会と関プロ健康保険委員会が終了後、6月中に開催する予定。

[広報]

- 報告：1. 関プロ会報編集委員会出席報告（2月7日（日）横浜プリンスホテル）
大野理事が出席。各県の委員15名が出席し、関プロ会報第39号発行に向けての協議を行った。当県は宮下会長の「会長の言葉」、原副会長の「各県便り」、吉澤浩子先生の「随筆」が掲載される予定。発行は4月30日。
2. 栃眼医会報第43号 随筆担当について
堤理事と柏瀬顧問の随筆が掲載される予定。
3. 「医療機器の不具合等報告の症例の公表及び活動について」の周知依頼の件
平成22年1月8日付けで厚労省より通知。医療関係者が事例を共有し、医療機器に係る安全な使用の向上に役立つよう、厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp>）において、平成21年度第2回薬事・食品衛生審議会医療機器安全対策部会に報告された医療機器の不具合等報告の一覧をマイクロソフトエクセル形式にて公表することにした。
眼科用機器の平成21年4月1日から平成21年9月30日までの報告は（<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/12/s1225-15a.html>）で閲覧可能。
4. 視力補正を目的としないコンタクトレンズとして届け出のあった品目について
平成22年2月3日付けで厚労省より通知。会員にFAXで送付済みであるが、（http://www.japal.org/tuuchi/20100203_0203-3.pdf）で閲覧可能。

協議：1. 理事会だよりの郵送について

栃木県眼科医会のホームページ（<http://www.tochigan.org/>）に理事会便りが掲載されるようになったため、今後の郵送は従来通りの継続を望む会員のみにお届けするようにしたい。後日お知らせを送り、希望者はその旨事務局までFAXしてもらおう予定。

会員専用ページへアクセスするにはまず事務局までメール（miyashita.hirosi@beige.plala.or.jp）又はFAX(028-611-1574)で連絡の上「ユーザー名」と「パスワード」を申請し、登録をしていただく。条件は下記のとおり。

ユーザー名：1～20文字 半角英数とハイフン(-)のみ使用可

パスワード：6～8文字 半角英数と記号

[公衆衛生]

- 報告：1. 「目の愛護デー」関連行事について
平成22年10月3日（日） PM1:00～5:00 宇都宮市健康センター（ララスクエアビル9階）
眼の健康講座（13:30～14:30）、眼科無料相談会（14:30～16:30）、その他無料眼圧測定を予定。
2. 平成22年度眼科一次救急実施予定日を栃木県福祉部医事厚生課に送付
日程を送付済み。平成22年9月20日以降の当番医は総会で協議し決定する予定。

- 協議：1. 2010年度J R P S とちぎ 医療講演及び相談会(9月19日(日))への講師派遣について
講演と質疑応答を行う(10:00～11:45) 今年は大田原か矢板で開催されるため
東北地区の先生にお願いしたい。福島理事に講師依頼を一任した。
2. 「目の愛護デー」関連行事の内容・無料相談担当医師について
講師については未定だが、今年自治医大眼科に依頼する予定。
無料相談担当医師については、まだ担当していない会員の先生の中からお願い
する予定。
3. 啓発新聞広告掲載について
昨年の広告にはコンタクトの啓発ポスターと同じページに眼科一次救急の記事
も掲載されたため、コンタクト作成希望者が休日に来院してしまった、との事。
栃木病院から依頼もあったため、今年は掲載しない事とする。

[医療対策]

- 報告：1. 平成22年度栃木県C L 販売管理者継続研修会講師について(とちぎ健康の森 12
月5日(日) PM14:00～16:00)
例年の如く県の薬務課に講師を一人依頼する他、自治医大眼科の小幡博人准教
授を予定。

- 協議：1. 栃木県アイバンクより送付の「親族優先提供発生等における情報公開」について
平成22年1月17日より、改正臓器移植法の一部が施行され、臓器提供の意思表示
に併せて、書面により親族への臓器の優先提供の意思を表示することができる
事になったが、親族からも書面による承諾の意思確認を取っておくように、と
の事。

[勤務医]

- 報告：1. 関プロ勤務医委員会出席と提出議題につて
上田理事が出席予定。提出議題は特になし。

- 協議：1. 第15回栃木県眼科手術談話会について
平成22年5月21日(金)宇都宮医師会館で開催。今後演題募集のお知らせを送付す
る予定。

次回理事会は5月19日(水)に開催する。

以上
(吉沢 徹 記)